

企業名：マキタ

レポート名：マキタレポート2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

このレポート全体を通して環境問題への取り組みを強く意識している企業である事が読み取れる。ガソリンを用いない充電製品による脱炭素化の推進や脱プラスチック、技術レベルの向上によるエネルギー効率の改良などを目指していることがよく伝わるレポートであった。一方、はじめに長期目標として掲げていた「Strong Company」についてはやや不透明で分かりにくいと感じた。企業の取り組みや強みなどは十分に記載されているように思えるが、業界中での明確な強みを強調しないとやや単調なものに感じてしまう。そのため、このレポートを通して受ける印象は、「Strong Company」よりも環境問題への取り組みのほうが大きいだらう。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

会社の強みとして環境問題へ関心の増加や新型コロナウイルスによる需要の増大などが挙げられているが、これらはこの業界全体の強みであってマキタに限定されるものではない。おそらく、同業他社と比較して海外拠点を多く持っていることが世界でも多くのシェア率を持つ理由として挙げられるだろうが、あまり強調されているように思えないのでややわかりにくい。また、一般市民も対象にしているメーカーなので名前のブランドイメージもそのシェア率に大きく貢献しているはずだが、その要素はこのレポートでは読み取れなかった。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

今後意識が高まるであろう SDGs をはじめとした諸環境問題に対する取り組みの姿勢は今後も評価できそうであるが、競争優位性となりえるとはいいがたい。また、持続性がありそうなものとしてはブランドイメージがあるが、これについては特に言及されていない。将来性に関しては環境問題への取り組みや予定されている海外拠点についてなど多少の記載はあるが、総じて将来に関する記述が不足しているように思える。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

人材育成方式に関しては具体的な教育体系イメージ図が載っており、また海外業務研修についても触れられているが、やや不足しているようにも思える。学生目線では各プログラムにどのような意図があるのかを知りたい。また、こういった教育方針では実際の様子と異なることが多々あるので実際の例がないと将来のビジョンが見えず、人的資本の価値向上に

ついてポジティブにみることはできない。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

まず、はじめの会長メッセージや社長インタビューにある内容と後の項目でかなり内容が重複しているように思えるため、ここに改善の余地がある。会長や社長のメッセージは思想や方針についての話にとどめて、できるだけ内容が重複しないように、インタビューの内容を再編してコンパクトにすることがよいと思われる。また、こういった報告書は同業他社と比較して見られることも多いと考えられるため、この会社ならではの強みを強調するとより効率的なアピールができるだろう。最後に、人材育成に関してのアピールを増やすことでより人的資本への信頼を高めることができると思われる。例えば、この会社では入社後の海外拠点での研修に力を入れているのであればその点に関してより深く具体的な教育内容などを記載することで学生にとっても魅力的な報告書になるだろう。